

群馬県内企業における事業承継の現状と課題

群馬経済研究所 研究員 大井飛知岐

調査のポイント

企業の事業承継は、地域経済の持続的な成長に必要不可欠である。本稿では、アンケート調査を通じて群馬県内企業の事業承継の現状や課題を整理し、その解決策について考察した。

—要 約—

- 全国の後継者不在率は年々低下しているものの、いまだ半数以上の企業で後継者不在となっている。また、事業承継の形態が変化しつつあり、従来の「親族内承継」は減り、「従業員承継」や「社外への引継ぎ」が増加してきている。
- アンケート調査によると、県内企業の45.1%が後継者不在であった。とくに、従業員数が5人以下の企業では、その割合が半数を超えており、小規模事業者の後継者不足問題が浮き彫りとなった。また、その中には「廃業を考えている」という回答も少なくなかった。
- 「後継者不在」の企業で、「M&Aを考えている」と回答したのはわずか2.7%にとどまった。その理由として、自社の企業規模が小さいことを挙げる企業が多かった。
- 事業承継のさまざまな課題を解決するため、国や県、民間企業は多様なサービスを展開している。事業承継を考えている企業は、これらの専門家に早めに相談してみることが推奨する。